



JFE グループ CSR報告書 2015

環境データ集

CONTENTS

- 01 報告対象範囲
- 02 組織概要

JFEグループ

- 03 ISO14001取得の状況
- 04 JFEグループの環境会計／グループのCO₂排出量
- 05 JFEグループのリサイクル事業の展開
- 06 JFEグループのリサイクル事業一覧
- 07 環境重点目標と実績

JFEスチール

- 09 マテリアルフロー
- 11 投入資源／供給製品
- 12 リサイクル資源／CO₂排出量およびエネルギー消費量
- 13 CO₂排出量およびエネルギー消費量
- 14 排出物

JFEエンジニアリング

- 20 投入資源／供給製品
- 21 CO₂排出量
- 22 排出物／化学物質管理
- 23 各部門・事業所ごとの廃棄物発生・処分状況

JFE商事

- 25 電力使用量およびCO₂排出量／投入資源
- 26 環境省「環境報告ガイドライン2012」対照表

本誌は「JFEグループ CSR報告書2015」の報告内容を補足するため
事業会社3社の環境対策に関するさまざまなデータや
JFEグループのリサイクル事業に関するデータを掲載しています
当社の環境への取り組みをより深くご理解いただくための補遺版としてご覧ください



● 報告対象範囲

対象期間

2014年度(2014年4月1日~2015年3月31日)

対象組織

1. JFEホールディングス(株)とその事業会社である以下の3社

- JFEスチール(株)
- JFEエンジニアリング(株)
- JFE商事(株)

2. 次のデータについては、以下に示す「集計対象の主要国内外グループ会社」も対象としています。

【環境データ集計対象】

- ISO14001取得状況
- CO₂排出量
- エネルギー使用量(JFEスチールグループ、JFEエンジニアリンググループ)
- 電力使用量(JFE商事グループ)

● JFEスチールグループ

JFEスチール(株)および以下の国内外連結子会社31社、持分法適用会社2社(計34社)

[国内27社]

JFEミネラル(株)、水島合金鉄(株)、JFEマテリアル(株)、千葉リバーメント(株)、水島リバーメント(株)、JFE精密(株)、JFEプラリソース(株)、JFE条鋼(株)、JFE建材(株)、JFE鋼板(株)、JFEコンテナ(株)、JFE鋼管(株)、JFE大径鋼管(株)、ガルパテックス(株)、JFE継手(株)、JFEテクノワイヤ(株)、JFE鋼材(株)、JFE電磁鋼板(株)、JFE物流(株)、JFEケミカル(株)、JFEライフ(株)、ジェコス(株)、JFEロックファイバー(株)、JFE建材フェンス(株)、J-ロジテック(株)、ケープラシート(株)、JFEマグパウダー(株)

[海外6社]

California Steel Industries[※]、Nova Era Silicon、広州JFE鋼板有限公司[※]、JFE Steel Galvanizing (Thailand) Ltd.、Thai Coated Steel Sheet、Philippine Sinter Corporation

※ 持分法適用会社

● JFEエンジニアリンググループ

JFEエンジニアリング(株)および以下の国内連結子会社11社(計12社)

あすか創建(株)、ジャパン・パイプライン・エンジニアリング(株)、JFE環境(株)、ジャパン・リサイクル(株)、(株)日本リサイクルマネジメント、JFEアーバンリサイクル(株)、北日本機械(株)、JFEテクノス(株)、富士化工(株)、東北ドック鉄工(株)、JFEレールリンク(株)

● JFE商事グループ

JFE商事(株)および以下の国内外連結子会社(鋼材加工会社) 32社(計33社)

[国内18社]

JFE商事大阪ブリキセンター(株)、JFE商事コイルセンター(株)、JFE商事甲南スチールセンター(株)、愛知管材工業(株)、大阪スチール(株)、(株)九州テック、倉敷スチール(株)、新日本工業(株)、大興興業(株)、東洋金属(株)、栃木シャーリング(株)、内外スチール(株)、長野製罐(株)、新潟スチール(株)、水島鋼板工業(株)、水島メタルプロダクツ(株)、北陸スチール(株)、北陸興業(株)

[海外14社]

東莞川電鋼板製品有限公司、広州川電鋼板製品有限公司、浙江川電鋼板加工有限公司、江蘇川電鋼板加工有限公司、JFE SHOJI STEEL PHILIPPINES, INC.、CENTRAL METALS (THAILAND) LTD.、STEEL ALLIANCE SERVICE CENTER CO., LTD.、JFE SHOJI STEEL VIETNAM CO., LTD.、JFE SHOJI STEEL INDIA PRIVATE LIMITED、JFE SHOJI STEEL MALAYSIA SDN. BHD.、P.T. JFE SHOJI STEEL INDONESIA、VEST INC.、JFE SHOJI STEEL DE MEXICO,S.A.DE C.V.、JFE SHOJI STEEL HAI PHONG CO.,LTD.

【社会データ集計対象】

- 休業度数率・強度率の推移

● JFEスチール

JFEスチール(株)および協力会社、請負会社

● JFEエンジニアリング

JFEエンジニアリング(株)および協力会社、請負会社

● JFE商事

JFE商事(株)およびすべての連結子会社107社および協力会社、請負会社

組織概要

JFEスチール会社概要

JFEスチール株式会社

- 本社所在地：〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
- TEL：03-3597-3111
- 売上高(連結)：28,738億円
- 従業員数(連結)：43,680名

主な製作所



東日本製鉄所(千葉地区)

〒260-0835 千葉県千葉市中央区川崎町1番地
TEL：043-262-2024 FAX：043-262-2967

●主要事業

熱延鋼板・鋼帯、冷延鋼板・鋼帯、ステンレス鋼板・鋼帯、
表面処理鋼板・鋼帯、UOE鋼管、鉄粉、溶材の生産



西日本製鉄所(倉敷地区)

〒712-8511 岡山県倉敷市水島川崎通り1丁目
TEL：086-447-2020 (代表電話)
TEL：086-447-2102 (見学センター受付)
FAX：086-447-2131

●主要事業

熱延鋼板、冷延鋼板、表面処理鋼板、電磁鋼板、厚鋼板、
鋼矢板、H形鋼、レール、棒鋼、線棒、UOE鋼管



東日本製鉄所(京浜地区)

〒210-0868 神奈川県川崎市川崎区扇島1番地1
TEL：044-322-1111 (代)

●主要事業

厚鋼板、熱延鋼板、冷延鋼板、亜鉛メッキ鋼板、
高機能薄鋼板類や継目無鋼管、溶接鋼管の生産



西日本製鉄所(福山地区)

〒721-8510 広島県福山市鋼管町1番地
TEL：084-945-3118 FAX：084-945-3808

●主要事業

熱延鋼板、冷延鋼板、表面処理鋼板、電磁鋼板、厚鋼板、
鋼矢板、H形鋼、レール、棒鋼、線棒、UOE鋼管



知多製造所

〒475-8611 愛知県半田市川崎町1丁目1番地
TEL：0569-24-2101 (総務室) FAX：0569-24-2022

●主要事業

機械構造用鋼管、自動車用鋼管、材料管、一般構造用鋼管、
配管用鋼管などの生産

JFEエンジニアリング会社概要

JFEエンジニアリング株式会社

- 東京本社所在地：〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号(丸の内トラストタワーN館19階)
- TEL：03-6212-0800 (代表) FAX：03-6212-0802
- 横浜本社所在地：〒230-8611 神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地
- TEL：045-505-7435 (代表) FAX：045-505-8902 TEL：045-505-8953 (広報担当)
- 売上高(連結)：3,673億円
- 従業員数(連結)：8,472名

主な製作所



鶴見製作所

〒230-8611 神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地
TEL：045-505-7435 FAX：045-505-8902

●主要事業

エンジン、シールド掘進機、搬送機械、ボイラー・タービン、
水道施設、自動倉庫、製鉄設備などの製作



津製作所

〒514-0393 三重県津市雲出鋼管町1番地
TEL：059-246-2010 FAX：059-246-2781

●主要事業

橋梁、港湾構造物など鋼構造物の製作

JFE商事会社概要

JFE商事株式会社

- 東京本社所在地：〒100-8070 東京都千代田区大手町1丁目9番5号(大手町フィナンシャルシティ・ノースタワー)
- TEL：03-5203-5053 FAX：03-5203-5289
- 大阪本社所在地：〒530-8318 大阪市北区堂島1丁目6番20号(堂島アバンザ)
- TEL：06-4795-7011 FAX：06-4795-7400
- 売上高(連結)：19,344億円
- 従業員数(連結)：6,667名

JFEグループ

ISO14001 取得の状況

JFEスチールおよびJFEエンジニアリングのすべての製造拠点とJFE商事の国内全事業所で、ISO14001を取得しています。また、グループ会社における取得状況は以下の通りです。

ISO14001取得会社一覧(一部事業所などでの取得も含む)

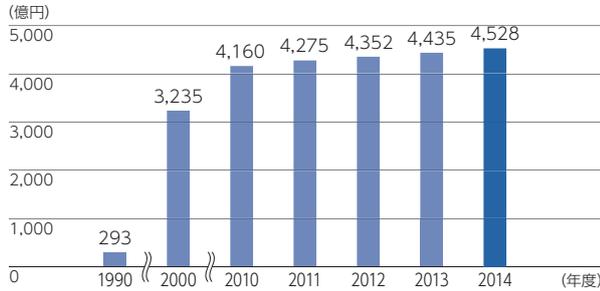
JFEスチール(株)	JFEスチール(株)のすべての製造拠点および以下の連結子会社21社と持分法適用会社1社(計23社)
	JFEミネラル(株)
	水島合金鉄(株)
	JFEマテリアル(株)
	JFEプラリソース(株)
	JFE条鋼(株)
	JFE建材(株)
	JFE建材工事(株) ^{※1}
	JFE鋼板(株)
	JFEコンテナ(株)
	JFE鋼管(株)
	JFE継手(株)
	リバースチール(株) ^{※1}
	JFE電磁鋼板(株)
	大和鋼帯(株) ^{※1}
	JFEメカニカル(株) ^{※1}
	JFE電制(株) ^{※1}
	JFE物流(株)
	JFEテクノリサーチ(株) ^{※1}
	JFEケミカル(株)
	Thai Coated Steel Sheet Co., Ltd.
広州JFE鋼板有限公司 ^{※2}	
Philippine Sinter Corporation	
JFEエンジニアリング(株)	JFEエンジニアリング(株)のすべての製造拠点および以下の連結子会社4社(計5社)
	JFE環境(株)
	ジャパンリサイクル(株)
	富士化工(株)
あすか創建(株)	
JFE商事(株)	JFE商事(株)のすべての国内事業所および以下の連結子会社19社(計20社)
	JFE商事コイルセンター(株)
	JFE商事甲南スチールセンター(株)
	大清興業(株)
	東洋金属(株)
	内外スチール(株)
	水島鋼板工業(株)
	水島メタルプロダクツ(株)(水島鋼板工業(株)に含まれる)
	北陸スチール(株)
	広州川電鋼板製品有限公司
	東莞川電鋼板製品有限公司
	江蘇川電鋼板加工有限公司
	浙江川電鋼板加工有限公司
	CENTRAL METALS (Thailand) Ltd.
	JFE SHOJI STEEL PHILIPPINES, INC.
	P.T. JFE SHOJI STEEL INDONESIA
	JFE SHOJI STEEL MALAYSIA SDN. BHD.
JFE SHOJI STEEL HAI PHONG CO.,LTD.	
JFE SHOJI STEEL VIETNAM CO.,LTD.	
JFE SHOJI STEEL DE MEXICO,S.A. DE C.V.	

※1 環境データの集計対象範囲外 ※2 持分法適用会社

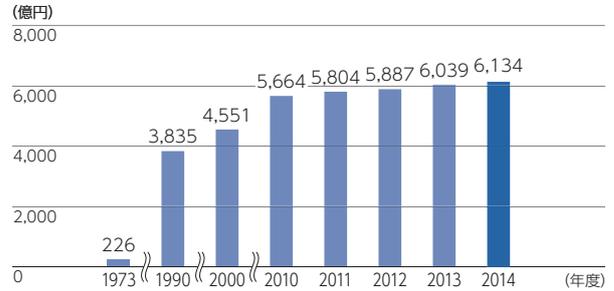
JFEグループの環境会計

● 環境会計

省エネルギー投資累計額



環境保全投資累計額



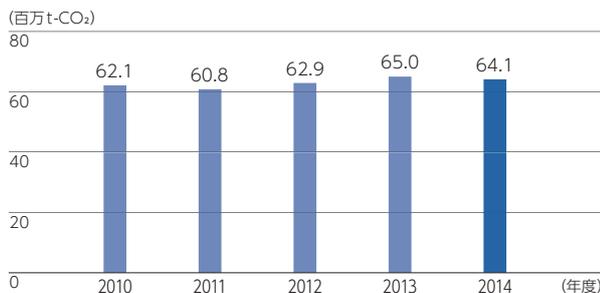
環境保全コストの内訳

主な内容	2013年度		2014年度		
	投資額 (億円)	費用額 (億円)	投資額 (億円)	費用額 (億円)	
マネジメント	1	24	0.1	24	
地球温暖化防止	84	392	93	379	
資源の有効活用	工業用水の循環	8	18	185	
	自社内発生物のリサイクル、廃棄物管理など	1	45	0.1	54
環境保全	大気汚染の防止	123	336	61	373
	水質汚濁の防止	19	99	15	95
	土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下の防止	0.1	14	0.7	11
その他	-	14	-	14	
研究開発	44	131	15	122	
社会活動	-	7	-	9	
合計	280	1,238	203	1,266	

集計範囲：JFEスチール(株)、ただし研究開発のみJFEエンジニアリング(株)を含む。

JFEグループのCO₂排出量

JFEグループのCO₂排出量推移



※ 各年度を統一するために、過年度に遡及して集計範囲を拡大・修正

購入電力のCO₂排出係数

- JFEスチール：日本鉄鋼連盟の自主行動計画にもとづく係数。ただし2014年度は2013年度の値を使用
- JFEエンジニアリンググループ：各年度の電気事業者別実排出係数
- JFEスチールを除くJFEスチールのグループ会社とJFE商事グループ：「平成24年度の電気事業者ごとの実排出係数」の代替値0.000550 (t-CO₂/kWh)
- 海外：GHGプロトコルの各国排出係数

CO₂排出量のグループ別内訳 (2014年度)

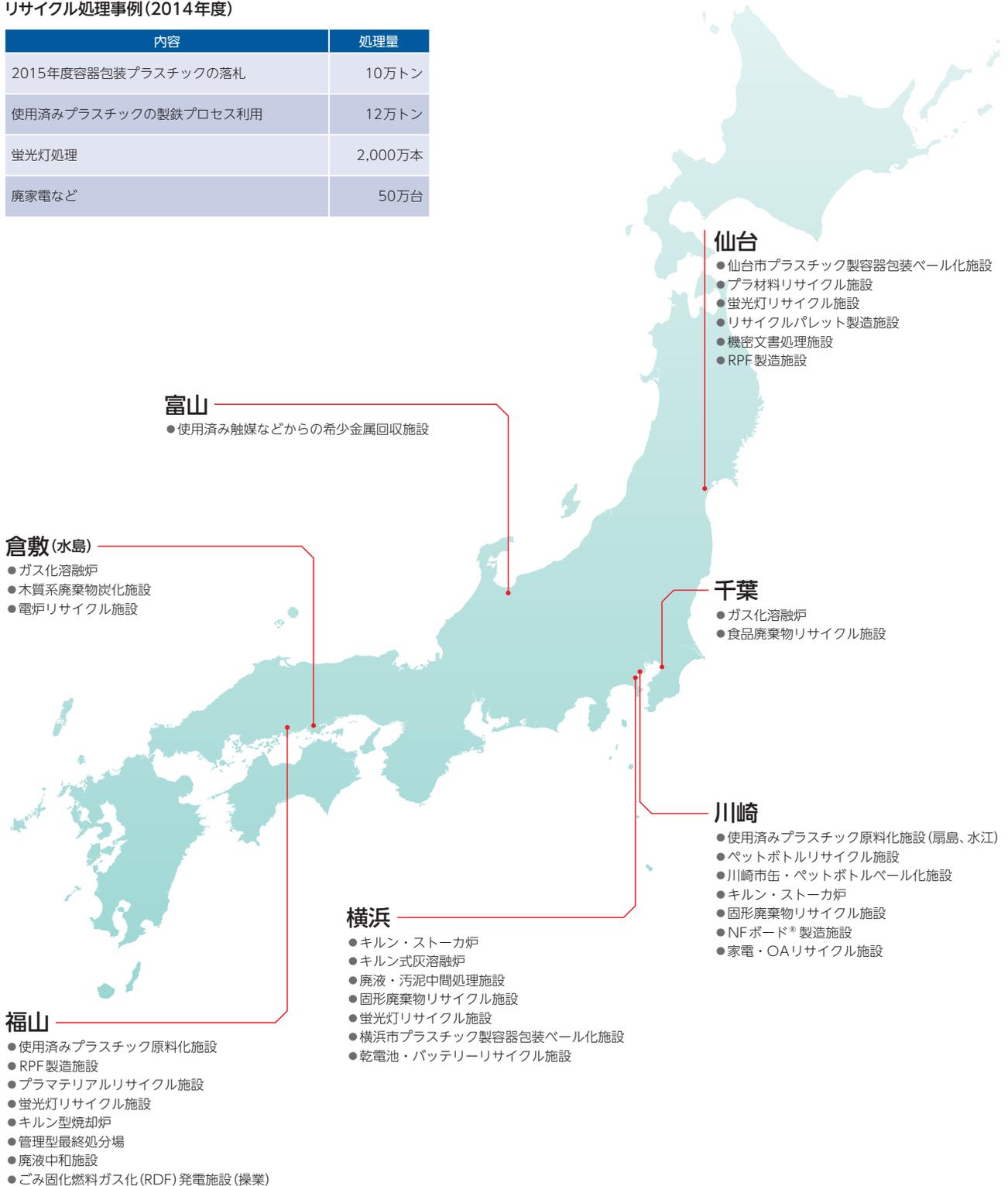
JFEスチールグループ	JFEエンジニアリンググループ	JFE商事グループ
64,021千t-CO ₂	72千t-CO ₂	30千t-CO ₂
99.84%	0.11%	0.05%

集計範囲：JFEスチール、国内外主要子会社31社および持分法適用会社2社
 JFEエンジニアリングおよび国内主要子会社11社
 JFE商事および国内外主要子会社32社 総計79社

JFEグループのリサイクル事業の展開

リサイクル処理事例(2014年度)

内容	処理量
2015年度容器包装プラスチックの落札	10万トン
使用済みプラスチックの製鉄プロセス利用	12万トン
蛍光灯処理	2,000万本
廃家電など	50万台



JFEグループのリサイクル事業一覧

JFEグループのリサイクル事業一覧

地区	会社名および工場・事業所など	施設	施設所在地
仙台	新港リサイクル株式会社 本社工場	仙台市プラスチック製容器包装ペール化施設 プラ材料リサイクル施設 蛍光灯リサイクル施設 リサイクルパレット製造施設 機密文書処理施設 RPF製造施設	宮城県仙台市宮城野区港1-20-5 同上 同上 同上 同上 宮城県利府町しらかし台6-5-14
	利府工場		
千葉	ジャパン・リサイクル株式会社 千葉リサイクルセンター 千葉バイオガスセンター	ガス化熔融炉 食品廃棄物リサイクル施設	千葉県千葉市中央区川崎町1 同上
川崎	JFE環境株式会社 扇島工場 川崎ペットボトルリサイクル工場 缶・ペットボトル工場 川崎エコクリーン	使用済みプラスチック原料化施設 ペットボトルリサイクル施設 川崎市缶・ペットボトルペール化施設 キルン・ストーカ炉 固形廃棄物リサイクル施設	神奈川県川崎市川崎区扇島10 神奈川県川崎市川崎区水江町699-38 神奈川県川崎市川崎区水江町699-58 神奈川県川崎市川崎区扇島5番地73ほか 同上
	JFE プラリソース株式会社 水江原料化工場 NFボード®製造工場	使用済みプラスチック原料化施設 NFボード®製造施設	神奈川県川崎市川崎区水江町679-23ほか 神奈川県川崎市川崎区水江町5-1
	JFEアーバンリサイクル株式会社 家電リサイクル工場	家電・OAリサイクル施設	神奈川県川崎市川崎区水江町6-1
横浜	JFE環境株式会社 横浜エコクリーン	キルン・ストーカ炉 キルン式灰熔融炉 廃液・汚泥中間処理施設 固形廃棄物リサイクル施設 蛍光灯リサイクル施設 横浜市プラスチック製容器包装ペール化施設 乾電池・バッテリーリサイクル施設	神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1-5ほか 同上 神奈川県横浜市鶴見区弁天町3-1 神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1-5 神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1-8 神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1-8 神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1-8
	JFE環境ロジテック株式会社 金沢リサイクルセンター	固形廃棄物リサイクル施設	神奈川県横浜市金沢区福浦1-14-5
倉敷 (水島)	水島エコワークス株式会社	ガス化熔融炉	岡山県倉敷市水島川崎通1-14-5
	株式会社日本リサイクルマネジメント 岡山炭化炉	木質系廃棄物炭化施設	岡山県倉敷市水島川崎通1-14-1
	JFE条鋼株式会社 直流アーク電気炉	電炉リサイクル施設	岡山県倉敷市水島川崎通1-5-2ほか
福山	JFE プラリソース株式会社 福山原料化工場	使用済みプラスチック原料化施設	広島県福山市箕沖町113ほか
	JFE環境株式会社 福山RPF工場 PMリサイクル工場 福山蛍光灯リサイクル工場 製鉄作業所	RPF製造施設 プラマテリアルリサイクル施設 蛍光灯リサイクル施設 キルン型焼却炉 管理型最終処分場 廃液中和施設	広島県福山市箕沖町115-1 同上 同上 広島県福山市鋼管町1 同上 同上
	福山リサイクル発電株式会社	ごみ固化燃料ガス化(RDF)発電施設(操業)	広島県福山市箕沖町107-8
富山	JFEマテリアル株式会社	使用済み触媒などからの希少金属回収施設	富山県射水市庄西町2-9-38

環境重点目標と実績

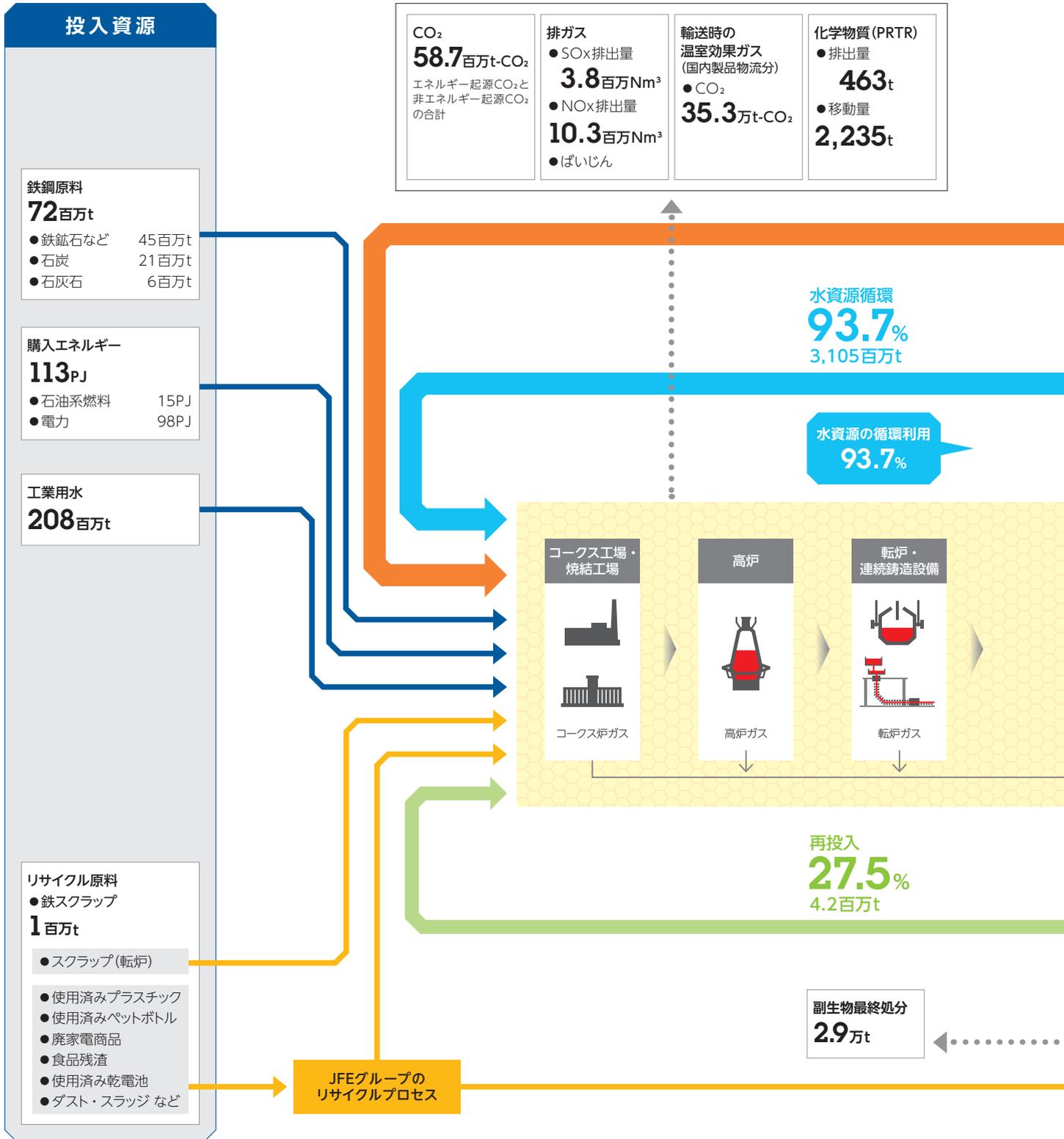
	会社名	2014年度環境重点目標
マネジメント	スチール	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ会社も含めた環境管理システムの継続的改善 ●自主的な環境保全活動の推進
	エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ会社も含めた環境法令遵守の強化
	商事	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ会社も含めた法令遵守体制の強化
地球温暖化防止対策の推進	スチール	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄連低炭素社会実行計画の確実な達成に向け、温室効果ガス削減対策を継続して実行（鉄連低炭素社会実行計画の目標（鉄連ベース）2020年にBAU（成り行き）比で500万トン/年のCO₂を削減）
	エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> ●商品・サービスを通じた環境負荷低減 研究・開発部門、計画・設計部門において、部門ごとに目標を設定して、温暖化防止などの環境保全に配慮した研究開発、計画設計に取り組む ●事業活動におけるCO₂排出削減 省エネルギー法に準じ、5年間平均でエネルギー使用原単位1%削減 ※日本産業機械工業会の自主行動計画と同等以上
	商事	<ul style="list-style-type: none"> ●電力使用量削減 ●コピー用紙使用量削減
汚染の予防	スチール	<ul style="list-style-type: none"> ●国のダイオキシン削減計画にしたがい2012～2016年度平均で5.5g-TEQ/年以下を達成
資源循環	スチール	<ul style="list-style-type: none"> ●ダスト・スラッジの発生量削減と資源化の推進
	エンジニアリング	<p>現地工事において、部門ごとに工事特性に応じた目標設定。 ※ 目標設定にあたり、以下を維持目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●がれきリサイクル率：99.5%以上 ●汚泥リサイクル率：95.0%以上 ●がれき、汚泥を除く産業廃棄物リサイクル率：85.0%以上

評価：○ 目標達成 △ 一部未達成 × 未達成

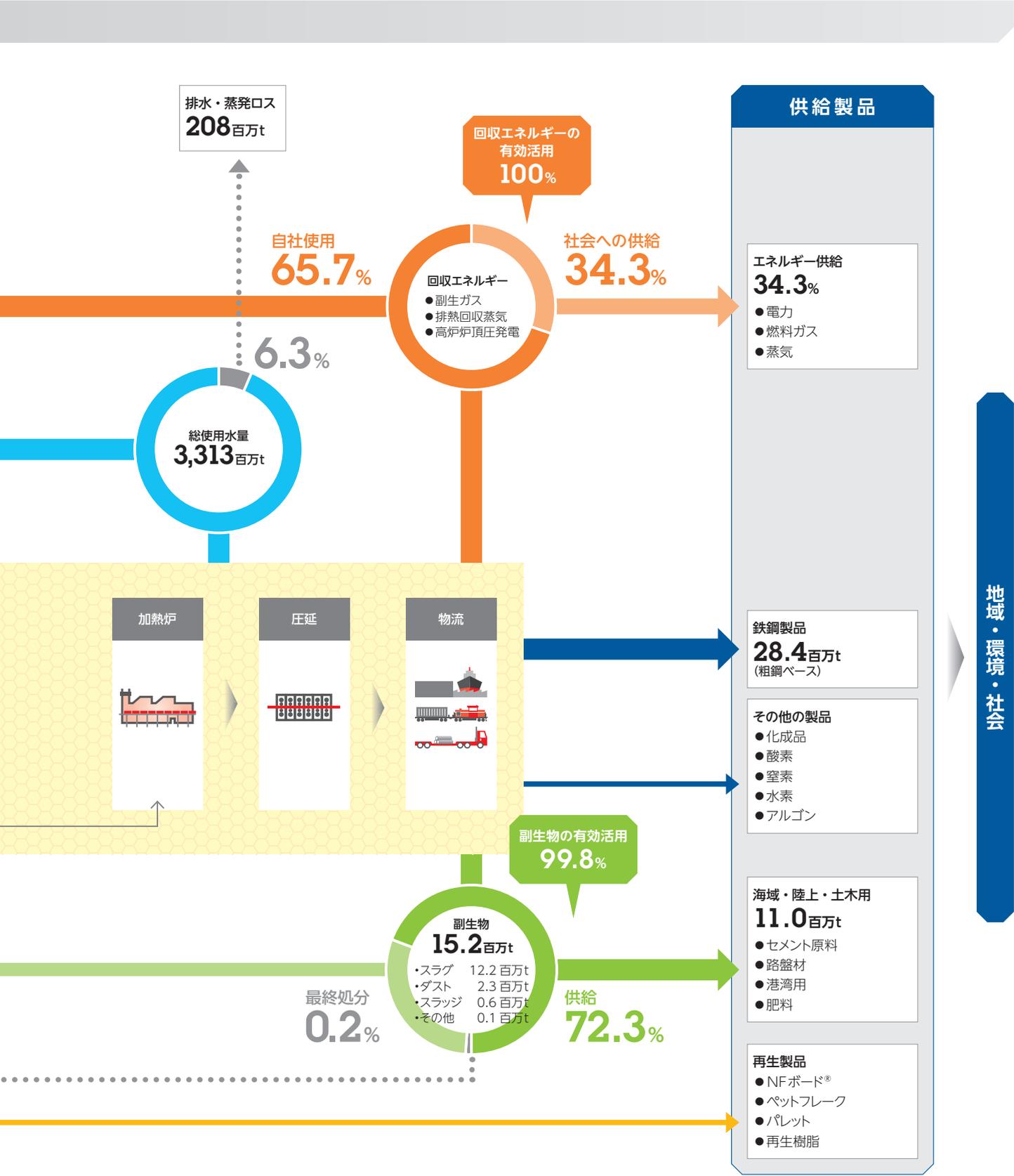
	2014年度実績	評価	2015年度環境重点目標
	<ul style="list-style-type: none"> ●環境法令遵守についてグループ連絡会2回開催 ●法令遵守状況を統一フォーマットでチェック&フォロー実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ会社も含めた環境管理システムの継続的改善
	<ul style="list-style-type: none"> ●新任管理者へのグループ環境管理者研修を実施：3回、73名受講 ●環境監査実施：スチール全製造拠点およびグループ会社26事業所 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●自主的な環境保全活動の推進
	<ul style="list-style-type: none"> ●全工事サイトにおける環境巡視の実施 ●グループ会社を含めた環境法令監査の実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●全工事サイトにおける環境巡視の実施 ●グループ会社も含めた環境法令遵守の強化
	<ul style="list-style-type: none"> ●法令遵守自主チェックの実施 ●グループ会社の環境監査を実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●法令遵守自主チェックの継続
	<ul style="list-style-type: none"> ●「3つのエコ(エコプロセス・エコソリューション・エコプロダクト)」と「革新的製鉄プロセス(COURSE50)開発」を4本柱とした活動を継続 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄連低炭素社会実行計画の確実な達成に向け、温室効果ガス削減対策を継続して実行(鉄連低炭素社会実行計画の目標(鉄連ベース) 2020年にBAU(成り行き)比で500万トン/年のCO₂を削減)
	<ul style="list-style-type: none"> ●59項目で目標達成 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●商品・サービスを通じた環境負荷低減部門ごとに環境保全に配慮した目標を設定し、研究開発、計画設計に取り組む
	<ul style="list-style-type: none"> ●2010年度～2014年度平均0.7%増 	△	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●電力量：2001年度比50%削減 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●電力使用量の削減施策継続
	<ul style="list-style-type: none"> ●コピー用紙使用量：2001年度比6%削減 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●コピー用紙使用量削減施策継続
	<ul style="list-style-type: none"> ●5.6g-TEQ/年 ※5年間の平均で評価 	—	<ul style="list-style-type: none"> ●国のダイオキシン削減計画にしたがい2012～2016年度平均で5.5g-TEQ/年以下を達成
	<ul style="list-style-type: none"> ●倉敷含油汚泥の有価化により廃棄物発生量の削減 削減量：2013年度 0.8千t→2014年度2.1千t 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●ダスト・スラッジの発生量削減と資源化の推進 ●倉敷含油汚泥の有価化による廃棄物削減量 2.1千t→3千t
	<p>現地工事を行う7部門につき、すべて目標を達成 ※ 全部門現地工事合計</p> <ul style="list-style-type: none"> ●がれきリサイクル率：99.6% ●汚泥リサイクル率：100.0% ●がれき、汚泥を除く産業廃棄物リサイクル率：93.3% ●産廃発生量総計：109,072t 	○	<p>現地工事において、部門ごとに工事特性に応じた目標設定 ※目標設定にあたり、以下を維持目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●がれきリサイクル率：99.5%以上 ●汚泥リサイクル率：95.0%以上 ●がれき、汚泥を除く産業廃棄物リサイクル率：85.0%以上

JFEスチール

マテリアルフロー

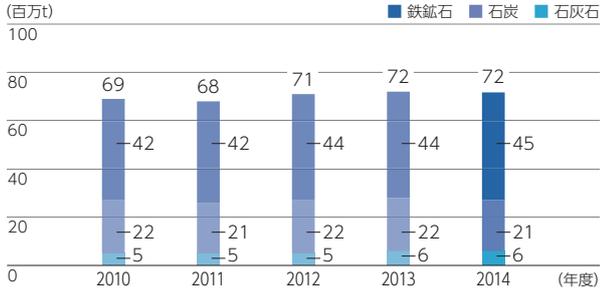


JFEスチールは、製鉄プロセスにおける環境負荷の低減と資源の有効活用を進めています。
 生産工程で使用する水は93.7%を循環利用しており、鉄鋼スラグなどの副生物は99.8%を有効活用しています。
 生産工程で生成する副生ガスは鋼材加熱用や自家発電用の燃料としているほか、社会に供給するエネルギーとして100%有効に活用しています。



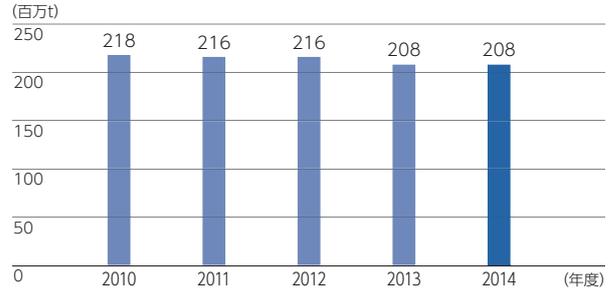
投入資源

鉄鋼原料

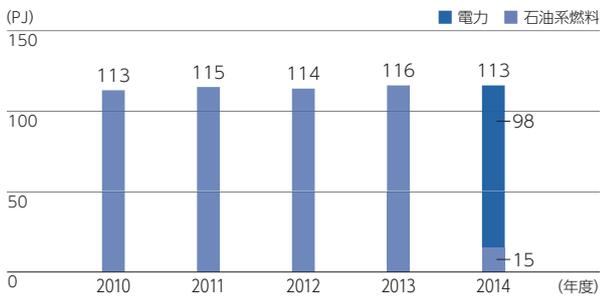


※ 精度向上のため、過年度数値を遡及して修正

工業用水

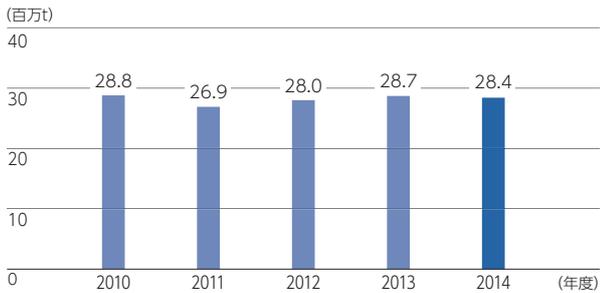


購入エネルギー (電力および石油系燃料)

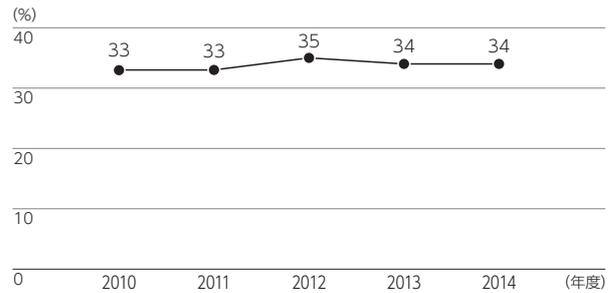


供給製品

鉄鋼製品



回収エネルギーの外部供給率



再生製品

- NFボード®
- ペットフレーク
- パレット
- 再生樹脂

その他の製品

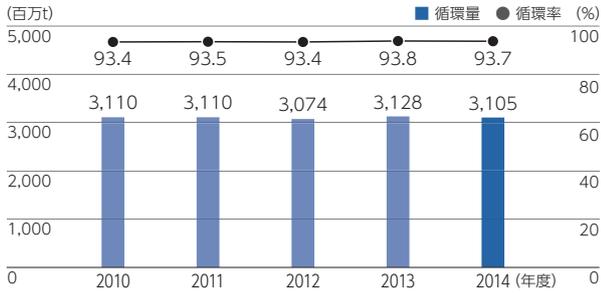
- 化成品
- 窒素
- アルゴン
- 酸素
- 水素

海域・陸上・土木用材 (副生物からの利用)

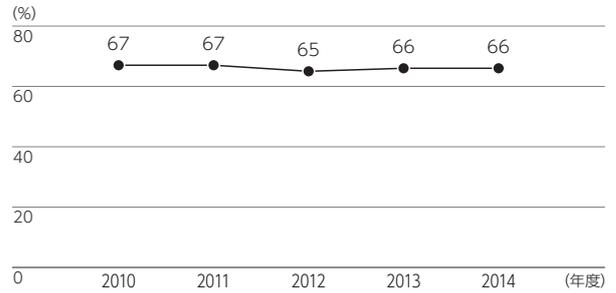


リサイクル資源

循環水



回収エネルギーの自社再利用率



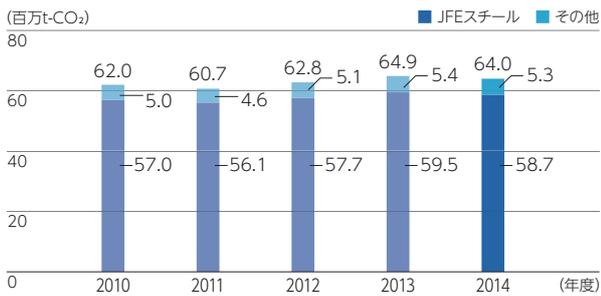
副生物



CO₂排出量およびエネルギー消費量

● JFEスチールグループの状況

CO₂排出量推移



集計範囲：JFEスチール(エネルギー起源+非エネルギー起源)、国内外連結子会社31社(エネルギー起源)、および持分法適用会社2社(エネルギー起源)

※ 各年度を統一するために、過年度に遡及して集計範囲を拡大・修正

購入電力のCO₂排出係数

- JFEスチール：日本鉄鋼連盟の自主行動計画にもとづく係数。ただし2014年度は2013年度の値を使用。
- JFEスチール以外：「平成24年度の電気事業者ごとの実排出係数」の代替値 0.000550 (t-CO₂/kWh)
- 海外：GHGプロトコルの各国排出係数

JFEスチールグループ子会社のCO₂排出量(2014年度)

(単位：t-CO₂)

会社名	排出量
JFE条鋼	1,196,344
水島合金鉄	605,838
JFEケミカル	599,021
JFEミネラル	404,174
JFE物流	179,756
JFE鋼板	87,330
JFEマテリアル	71,181
JFEロックファイバー	30,000
JFE継手	24,226
JFEプラリソース	21,234
ガルパテックス	14,458
水島リパーメント	12,562
JFEコンテナ	11,672
JFE建材	11,337
J-ロジテック	10,305
JFEテクノワイヤ	9,864
JFEライフ	8,146
JFE精密	7,315
JFE鋼管	6,957
JFE建材フェンス	6,355
千葉リパーメント	5,066
ケーブルシート	4,652
JFE大径鋼管	4,551
ジェコス	3,946
JFE電磁鋼板	3,920
JFE鋼材	3,855
海外(6社)	1,967,325
合計	5,311,391

JFEスチールグループ子会社のエネルギー使用量(2014年度)

(単位：GJ)

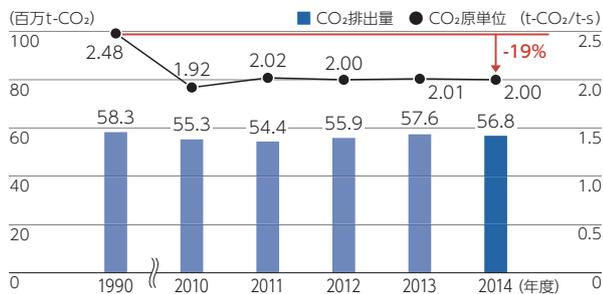
会社名	使用量
JFE条鋼	21,330,987
JFEケミカル	11,592,624
JFEミネラル	6,835,377
水島合金鉄	6,065,096
JFE物流	2,559,908
JFE鋼板	1,791,642
JFEマテリアル	1,250,395
JFEロックファイバー	532,534
JFE継手	443,652
JFEプラリソース	387,393
ガルパテックス	281,361
JFEコンテナ	221,492
JFE建材	208,930
水島リパーメント	186,406
JFEテクノワイヤ	184,670
J-ロジテック	150,574
JFEライフ	145,412
JFE精密	133,092
JFE鋼管	125,478
JFE建材フェンス	110,985
ケーブルシート	97,247
千葉リパーメント	91,824
JFE大径鋼管	81,210
JFE電磁鋼板	70,956
ジェコス	70,607
JFE鋼材	69,386
海外(6社)	20,158,395
合計	75,177,632

※ 端数調整のため合計が合致しません。

CO₂排出量およびエネルギー消費量

● JFEスチールの状況

エネルギー起源のCO₂排出量・原単位推移

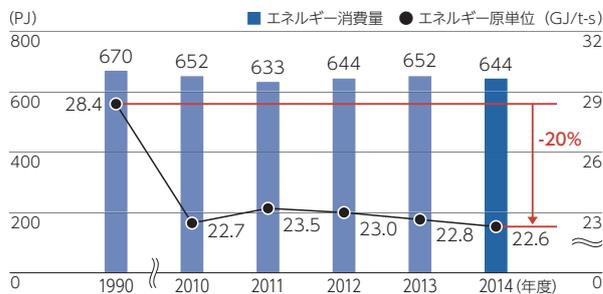


購入電力のCO₂排出係数

・日本鉄鋼連盟の自主行動計画にもとづく係数。ただし2014年度は2013年度の値を使用。

※ 精度向上のため、過年度数値を遡及して修正

エネルギー消費量・原単位推移



※ 精度向上のため、過年度数値を遡及して修正

CO₂原単位、粗鋼生産量の1990年度比増減率

(単位：%)

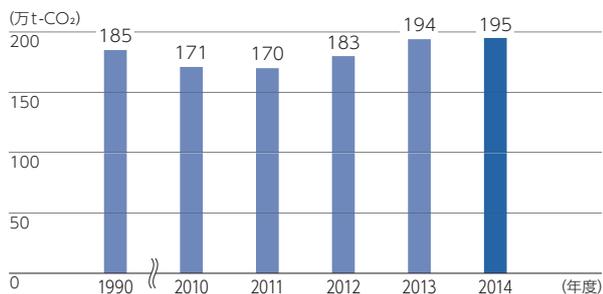
	2010	2011	2012	2013	2014
原単位	-22	-20	-21	-19	-19
粗鋼生産量	22	14	19	22	21

エネルギー原単位、粗鋼生産量の1990年度比増減率

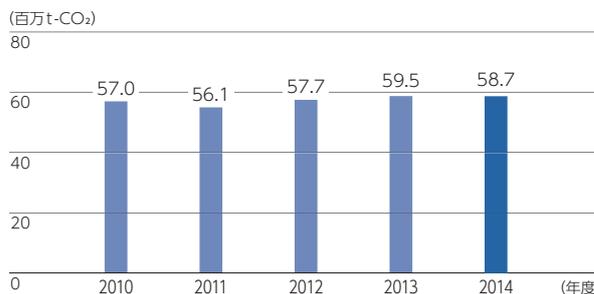
(単位：%)

	2010	2011	2012	2013	2014
原単位	-20	-17	-19	-19	-20
粗鋼生産量	22	14	19	22	21

非エネルギー起源のCO₂排出量推移

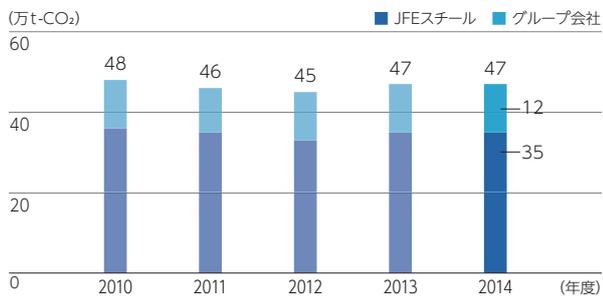


CO₂総排出量(エネルギー起源+非エネルギー起源)

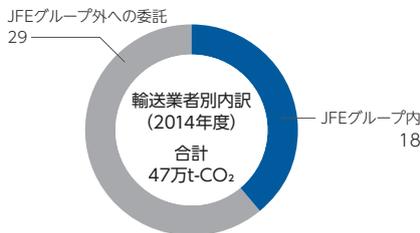


※ 精度向上のため、過年度数値を遡及して修正

輸送時の温室効果ガス排出量



集計範囲：国内輸送のみ



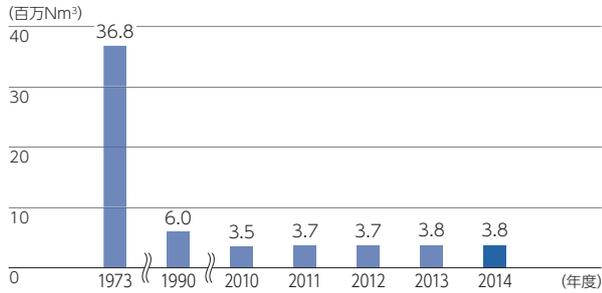
モーダルシフト化率(2014年度)



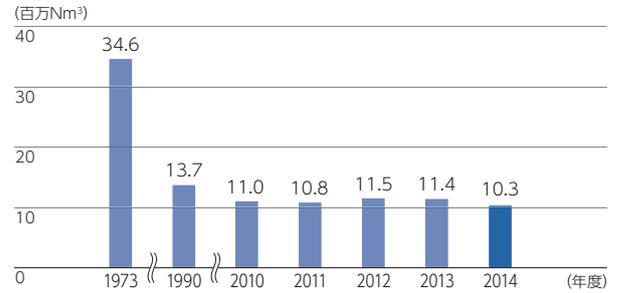
排出物

● 大気への排出

SOx排出量推移

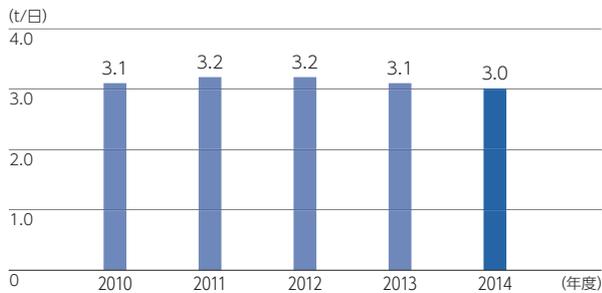


NOx排出量推移

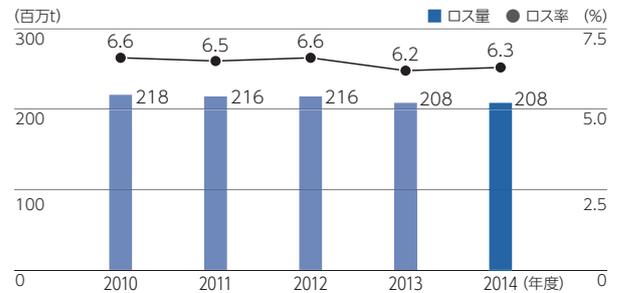


● 水域への排出

COD(化学的酸素要求量)推移

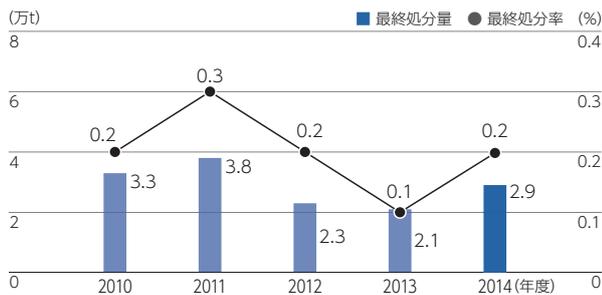


排水・蒸発ロス



● 副生物最終処分

副生物最終処分



● 化学物質管理

PRTR届出物質の排出量・移動量推移



※ 精度向上のため、過年度数値を遡及して修正

PRTR届出全物質(全社)

(単位: t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛水溶性化合物	0	6.5	0	0	0	10.0
15	アセナフテン	0	0	0	0	0	0
20	2-アミノエタノール	0	0	0	0	0	1.8
31	アンチモン及びその化合物	0	0.6	0	0	0	25.0
32	アントラセン	0	0	0	0	0	0
33	石棉	0	0	0	0	0	0
53	エチルベンゼン	31.5	0	0	0	0	8.3
71	塩化第二鉄	0	0	0	0	0	0
80	キシレン	140.4	0	0	0	0	10.2
83	クメン	1.9	0	0	0	0	0
87	クロム及び3価クロム化合物	0.0	0.8	0	0	0	968.2
88	6価クロム化合物	0	0.1	0	0	0	0.7
132	コバルト及びその化合物	0	0	0	0	0	0.0
185	ジクロロペンタフルオロプロパン(HCFC-225)	57.8	0	0	0	0	0
186	ジクロロメタン	14.1	0	0	0	0	0
188	N,N-ジシクロヘキシルアミン	0	0	0	0	0	2.5
240	スチレン	0.6	0	0	0	0	0
242	セレン及びその化合物	0	0.0	0	0	0	2.3
243	ダイオキシン類	5.6	0	0	0	0	0
262	テトラクロロエチレン	20.8	0	0	0	0	0
272	銅水溶性塩	0	0.1	0	0	0	0
292	トリブチルアミン	0	0	0	0	0	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	4.3	0	0	0	0	0.1
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	6.5	0	0	0	0	0.3
300	トルエン	84.6	0	0	0	0	2.3
302	ナフタレン	1.7	0	0	0	0	0.2
304	鉛	0	0	0	0	0	0
305	鉛化合物	0	0	0	0	0	240.0
308	ニッケル	0	0	0	0	0	3.9
309	ニッケル化合物	0.0	3.1	0	0	0	185.0
321	バナジウム化合物	0	0	0	0	0	25.0
333	ヒドラジン	0	0	0	0	0	0
340	ビフェニル	0	0	0	0	0	0
349	フェノール	1.0	0	0	0	0	0
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	24.2	0	0	0	27.0
384	1-プロモプロパン	0	0	0	0	0	0
392	n-ヘキサン	0.0	0	0	0	0	0
400	ベンゼン	20.8	0	0	0	0	0
405	ほう素及びその化合物	0	19.8	0	0	0	4.3
406	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	0	0	0	0	0	0
407	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	0	0	0	0	0	1.5
410	ポリ(オキシエチレン)＝ニルフェニルエーテル	0	0	0	0	0	0
411	ホルムアルデヒド	0	0	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0.0	16.0	0	0	0	697.0
438	メチルナフタレン	0	0	0	0	0	0
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)＝ジイソシアネート	0	0	0	0	0	0
453	モリブデン及びその化合物	0.0	6.3	0	0	0	17.9
460	りん酸トリトリル	0	0	0	0	0	0
461	りん酸トリフェニル	0	0	0	0	0	1.4
	小計	386	77	0	0	0	2,235
	合計		463				2,235

PRTR届出全物質(東日本製鉄所) 千葉地区

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛水溶性化合物	0	0.2	0	0	0	10.0
20	2-アミノエタノール	0	0	0	0	0	0
31	アンチモン及びその化合物	0	0	0	0	0	0
53	エチルベンゼン	0.7	0	0	0	0	0
71	塩化第二鉄	0	0	0	0	0	0
80	キシレン	1.6	0	0	0	0	0
87	クロム及び3価クロム化合物	0.0	0.6	0	0	0	890.0
88	6価クロム化合物	0	0.1	0	0	0	0
132	コバルト及びその化合物	0	0	0	0	0	0
185	ジクロロペンタフルオロプロパン(HCFC-225)	56.0	0	0	0	0	0
243	ダイオキシン類	0.1	0	0	0	0	0
272	銅水溶性塩	0	0.1	0	0	0	0
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0	0	0	0	0	0
300	トルエン	0.3	0	0	0	0	0
308	ニッケル	0	0	0	0	0	3.9
309	ニッケル化合物	0.0	1.8	0	0	0	140.0
321	バナジウム化合物	0	0	0	0	0	0
333	ヒドラジン	0	0	0	0	0	0
349	フェノール	0	0	0	0	0	0
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	17.0	0	0	0	27.0
400	ベンゼン	1.2	0	0	0	0	0
405	ほう素及びその化合物	0	2.0	0	0	0	0.4
410	ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル	0	0	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0.0	0.4	0	0	0	95.0
453	モリブデン及びその化合物	0	2.5	0	0	0	0.8
	小計	60	25	0	0	0	1,167
	合計		85				1,167

PRTR届出全物質(東日本製鉄所) 西宮地区

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
87	クロム及び3価クロム化合物	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0
	合計		0				0

PRTR届出全物質(京浜地区)

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
20	2-アミノエタノール	0	0	0	0	0	1.8
53	エチルベンゼン	2.8	0	0	0	0	1.2
80	キシレン	7.6	0	0	0	0	2.6
87	クロム及び3価クロム化合物	0.0	0	0	0	0	15.0
88	6価クロム化合物	0	0	0	0	0	0.2
243	ダイオキシン類	1.6	0	0	0	0	0
262	テトラクロロエチレン	0	0	0	0	0	0
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.7	0	0	0	0	0.3
300	トルエン	13.0	0	0	0	0	2.2
308	ニッケル	0	0	0	0	0	0
309	ニッケル化合物	0.0	0	0	0	0	0
333	ヒドラジン	0	0	0	0	0	0
349	フェノール	1.0	0	0	0	0	0
400	ベンゼン	7.7	0	0	0	0	0
405	ほう素及びその化合物	0	3.1	0	0	0	0.1
407	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	0	0	0	0	0	1.5
412	マンガン及びその化合物	0.0	0.5	0	0	0	310.0
453	モリブデン及びその化合物	0.0	1.6	0	0	0	17.0
460	りん酸トリトリル	0	0	0	0	0	0
461	りん酸トリフェニル	0	0	0	0	0	1.4
	小計	33	5	0	0	0	352
	合計		38				352

PRTR届出全物質(西日本製鉄所) 倉敷地区

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛水溶性化合物	0	2.9	0	0	0	0
20	2-アミノエタノール	0	0	0	0	0	0
31	アンチモン及びその化合物	0	0.1	0	0	0	0.0
53	エチルベンゼン	4.4	0	0	0	0	0
71	塩化第二鉄	0	0	0	0	0	0
80	キシレン	7.1	0	0	0	0	0
87	クロム及び3価クロム化合物	0.0	0	0	0	0	25.0
88	6価クロム化合物	0	0	0	0	0	0.5
132	コバルト及びその化合物	0	0	0	0	0	0
185	ジクロロペンタフルオロプロパン	1.8	0	0	0	0	0
186	ジクロロメタン	2.1	0	0	0	0	0
242	セレン及びその化合物	0	0.0	0	0	0	2.3
243	ダイオキシン類	1.4	0	0	0	0	0
258	ヘキサメチレンテトラミン	0	0	0	0	0	0
262	テトラクロロエチレン	1.8	0	0	0	0	0
292	トリブチルアミン	0	0	0	0	0	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	1.8	0	0	0	0	0
300	トルエン	33.0	0	0	0	0	0
302	ナフタレン	0	0	0	0	0	0
305	鉛化合物	0	0	0	0	0	0
308	ニッケル	0	0	0	0	0	0
309	ニッケル化合物	0.0	0	0	0	0	8.2
400	ベンゼン	1.9	0	0	0	0	0
405	ほう素及びその化合物	0	8.9	0	0	0	1.3
406	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	0	0	0	0	0	0
410	ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテル	0	0	0	0	0	0
411	ホルムアルデヒド	0	0	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0.0	9.5	0	0	0	85.0
453	モリブデン及びその化合物	0	2.0	0	0	0	0.0
460	りん酸トリトリル	0	0	0	0	0	0
	小計	54	23	0	0	0	122
	合計		77				122

PRTR届出全物質(西日本製鉄所) 甲南地区

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
80	キシレン	1.1	0	0	0	0	0
300	トルエン	2.3	0	0	0	0	0
	小計	3	0	0	0	0	0
	合計		3				0

PRTR届出全物質(福山地区)

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛水溶性化合物	0	3.4	0	0	0	0
15	アセナフテン	0	0	0	0	0	0
20	2-アミノエタノール	0	0	0	0	0	0
31	アンチモン及びその化合物	0	0.4	0	0	0	25.0
32	アントラセン	0	0	0	0	0	0
53	エチルベンゼン	14.0	0	0	0	0	7.1
71	塩化第二鉄	0	0	0	0	0	0
80	キシレン	59.0	0	0	0	0	7.6
87	クロム及び3価クロム化合物	0	0	0	0	0	38.0
88	6価クロム化合物	0	0	0	0	0	0
104	クロロジフルオロメタン	0	0	0	0	0	0
132	コバルト及びその化合物	0	0	0	0	0	0.0
186	ジクロロメタン	12.0	0	0	0	0	0
240	スチレン	0.6	0	0	0	0	0
243	ダイオキシン類	2.5	0	0	0	0	0
262	テトラクロロエチレン	19.0	0	0	0	0	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	2.3	0	0	0	0	0.1
300	トルエン	28.0	0	0	0	0	0.1
302	ナフタレン	1.7	0	0	0	0	0.2
305	鉛化合物	0	0	0	0	0	240.0
308	ニッケル	0	0	0	0	0	0
309	ニッケル化合物	0	1.3	0	0	0	30.0
321	バナジウム化合物	0	0	0	0	0	25.0
340	ビフェニル	0	0	0	0	0	0
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	7.2	0	0	0	0
400	ベンゼン	10.0	0	0	0	0	0
405	ほう素及びその化合物	0	1.6	0	0	0	2.5
411	ホルムアルデヒド	0	0	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0	5.5	0	0	0	190.0
438	メチルナフタレン	0	0	0	0	0	0
453	モリブデン及びその化合物	0	0	0	0	0	0
460	りん酸トリトリル	0	0	0	0	0	0
461	りん酸トリフェニル	0	0	0	0	0	0
	小計	147	19	0	0	0	566
	合計		166				566

PRTR届出全物質(知多製造所)

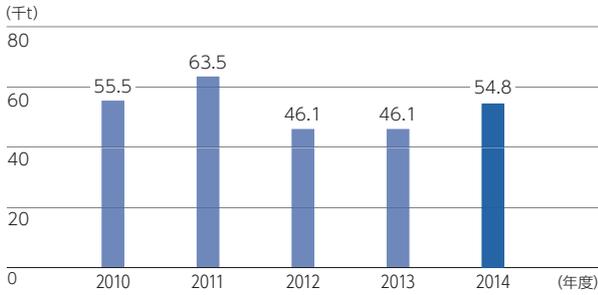
(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛水溶性化合物	0	0.0	0	0	0	0
53	エチルベンゼン	9.6	0	0	0	0	0
80	キシレン	64.0	0	0	0	0	0
83	クメン	1.9	0	0	0	0	0
87	クロム及び3価クロム化合物	0	0.2	0	0	0	0.2
188	N,N-ジシクロヘキシルアミン	0	0	0	0	0	2.5
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	0.2	0	0	0	0	0
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	5.8	0	0	0	0	0
300	トルエン	8.0	0	0	0	0	0
305	鉛化合物	0	0	0	0	0	0
308	ニッケル	0	0	0	0	0	0
309	ニッケル化合物	0	0.0	0	0	0	6.8
384	1-プロモプロパン	0	0	0	0	0	0
392	n-ヘキサン	0.0	0	0	0	0	0
405	ほう素及びその化合物	0	4.2	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0	0.1	0	0	0	17.0
448	メチレンビス(4,1-フェニレン) = ジイソシアネート	0	0	0	0	0	0
453	モリブデン及びその化合物	0	0.2	0	0	0	0.1
	小計	89	5	0	0	0	27
	合計		94				27

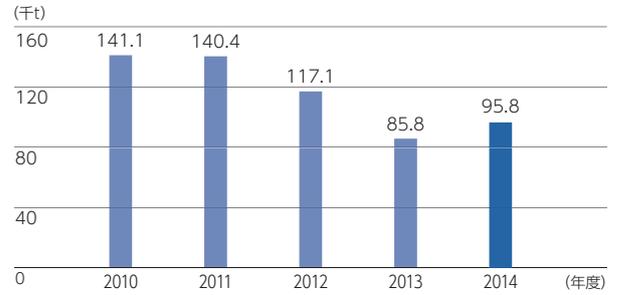
JFEエンジニアリング

投入資源

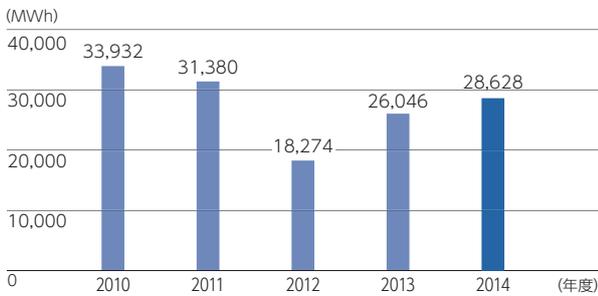
原材料



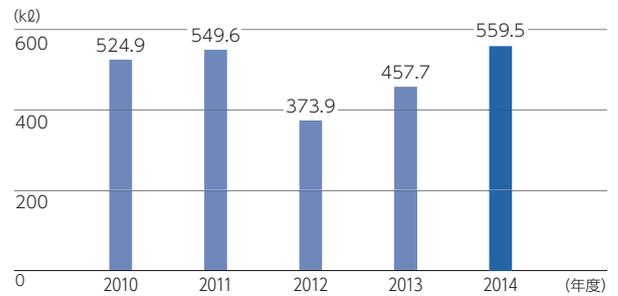
水



電力

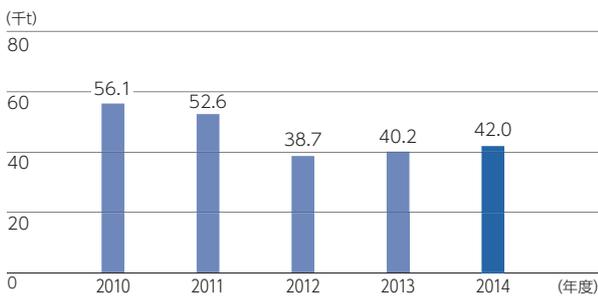


重油・灯油・軽油・ガソリン



供給製品

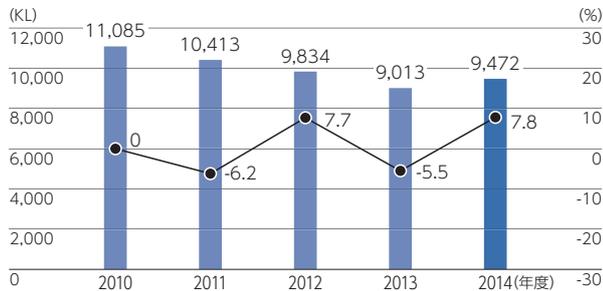
製品



CO₂排出量

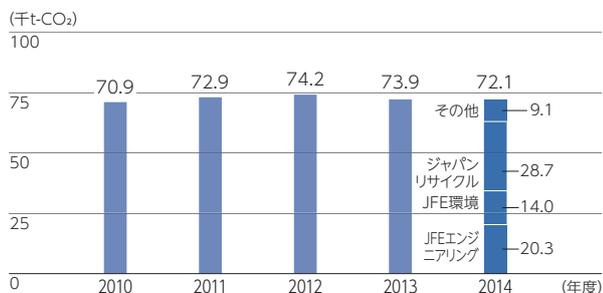
● 単体の状況

エネルギー使用量および原単位前年度比推移



● グループの状況

CO₂排出量推移



集計範囲: JFEエンジニアリングおよび国内連結子会社11社のエネルギー起源によるCO₂排出量

※ 精度向上のため、過年度数値を遡及して修正

JFEエンジニアリンググループ各社のCO₂排出量(2014年度)

(単位: t-CO₂)

会社名	排出量
ジャパン・リサイクル	28,706
JFEエンジニアリング	20,321
JFE環境	14,011
富士化工	2,607
ジャパン・パイプライン・エンジニアリング	1,685
JFEアーバンリサイクル	1,293
東北ドック鉄工	1,150
あすか創建	791
北日本機械	780
日本リサイクルマネジメント	710
JFEテクノス	96
合計	72,149

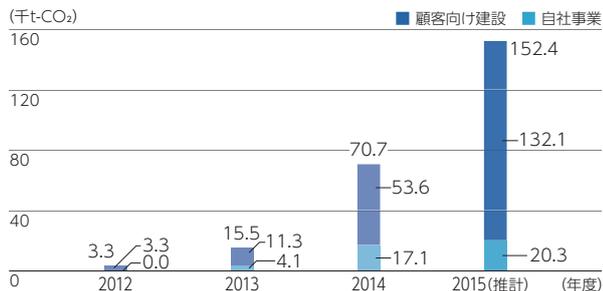
JFEエンジニアリンググループ各社のエネルギー使用量(2014年度)

(単位: GJ)

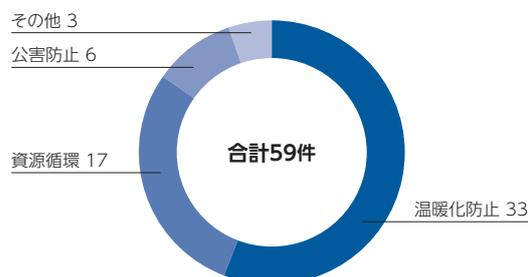
会社名	使用量
ジャパン・リサイクル	484,378
JFEエンジニアリング	368,610
JFE環境	240,562
富士化工	47,158
ジャパン・パイプライン・エンジニアリング	31,131
JFEアーバンリサイクル	22,104
東北ドック鉄工	19,021
あすか創建	13,043
北日本機械	12,449
日本リサイクルマネジメント	10,025
JFEテクノス	1,549
合計	1,250,031

環境負荷低減技術

太陽光発電建設によるCO₂排出削減量



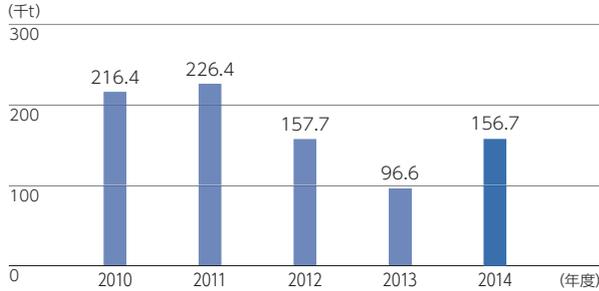
環境負荷低減技術の取り組み(2014年度)



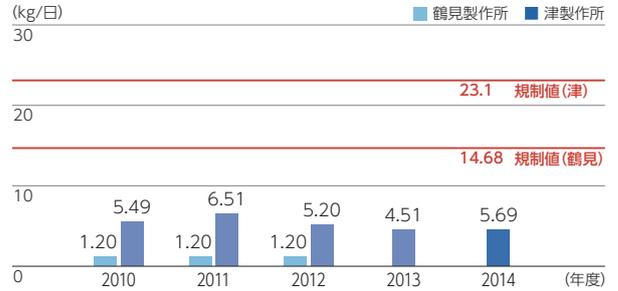
排出物

● 水域への排出

排水



公共水域への排水におけるCOD (化学的酸素要求量)の推移



※ 鶴見製作所は2013年度より公共下水に接続

化学物質管理

PRTR届出物質の排出量・移動量推移



PRTR届出全物質(全社)

(単位: t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	17.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
80	キシレン	45.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
243	ダイオキシン類 (mg-TEQ)	0.019	0.000	0.000	0.000	0.000	4.5
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	0.0058	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
300	トルエン	33.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
305	鉛化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0009
309	ニッケル化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8
400	ベンゼン	0.0001	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
406	PCB	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
412	マンガン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.6
448	メチレンビス(4,1-フェニレン) = ジイソシアネート	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
小計		96.3	0.0	0.0	0.0	0.0	27.6
合計		123.9				27.6	

※ 合計・小計はダイオキシン類を除く。

PRTR届出全物質(横浜本社(旧鶴見製作所))

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	2.3	0	0	0	0	0.2
80	キシレン	6.1	0	0	0	0	0.5
243	ダイオキシン類(mg-TEQ)	0.019	0	0	0	0	4.5
300	トルエン	19.0	0	0	0	0	1.5
406	PCB	0.0	0	0	0	0	3.2
412	マンガン及びその化合物	0.0	0	0	0	0	0.9
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	0.0	0	0	0	0	0.9
小計		27.4	0.0	0.0	0.0	0.0	7.2
合計		27.4				7.2	
		34.6					

PRTR届出全物質(津製作所)

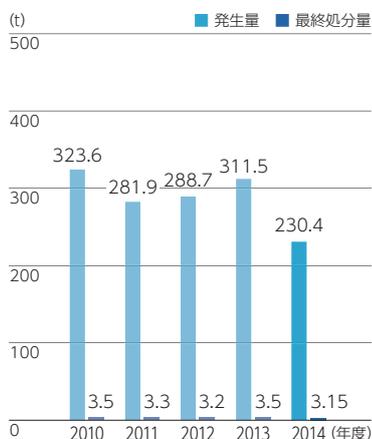
(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	15.2	0	0	0	0	0.8
80	キシレン	39.2	0	0	0	0	2.1
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	0.0058	0	0	0	0	0.2
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0	0	0	0	0	0.1
300	トルエン	14.5	0	0	0	0	0.8
305	鉛化合物	0	0	0	0	0	0.0009
309	ニッケル化合物	0	0	0	0	0	2.8
400	ベンゼン	0.0001	0	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	13.7
小計		68.9	0	0	0	0	20.4
合計		68.9				20.4	
		89.4					

各部門・事業所ごとの廃棄物発生・処分状況

● オフィス部門

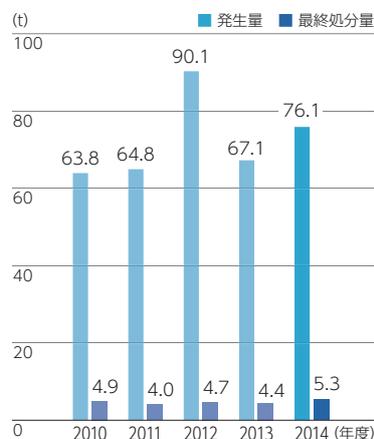
横浜本社



(単位:%)

	2010	2011	2012	2013	2014
リサイクル率(目標)	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
リサイクル率(実績)	98.8	98.8	98.8	98.8	98.5

津製作所

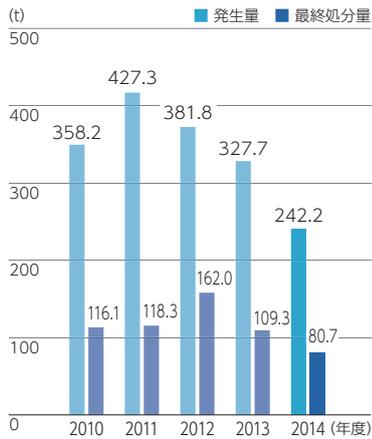


(単位:%)

	2010	2011	2012	2013	2014
リサイクル率(目標)	83.0	90.0	91.0	92.0	92.0
リサイクル率(実績)	84.9	90.0	92.1	88.1	87.4

● 生産部門

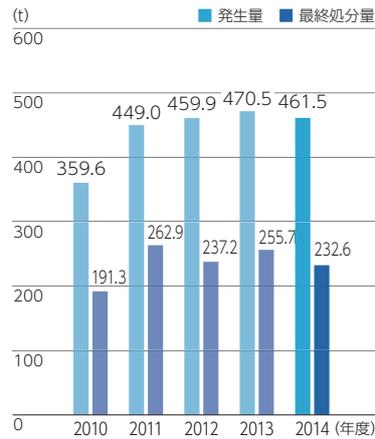
鶴見製作所



(単位: %)

	2010	2011	2012	2013	2014
リサイクル率 (目標)	54.0	54.0	55.0	56.0	58.0
リサイクル率 (実績)	53.0	60.8	41.4	53.6	57.5

津製作所

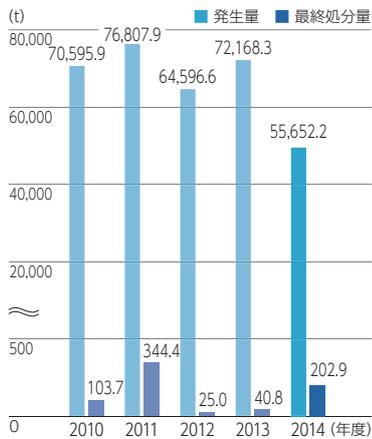


(単位: %)

	2010	2011	2012	2013	2014
リサイクル率 (目標)	25.0	31.0	29.0	30.0	30.0
リサイクル率 (実績)	30.2	25.5	32.0	30.1	33.9

● 工事部門

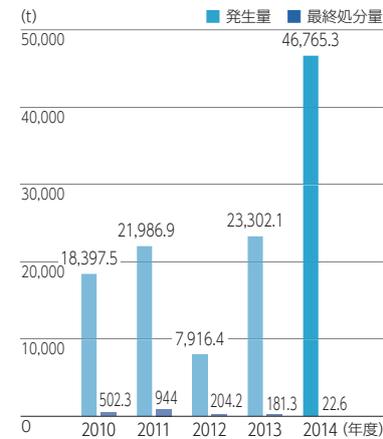
がれき



(単位: %)

	2010	2011	2012	2013	2014
リサイクル率 (目標)	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5
リサイクル率 (実績)	99.9	99.6	100	99.9	99.6

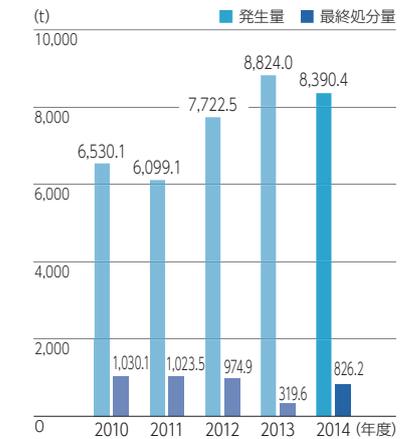
汚泥



(単位: %)

	2010	2011	2012	2013	2014
リサイクル率 (目標)	75.0	95.0	95.0	95.0	95.0
リサイクル率 (実績)	97.1	95.6	97.4	99.2	99.95

がれき・汚泥を除く産業廃棄物



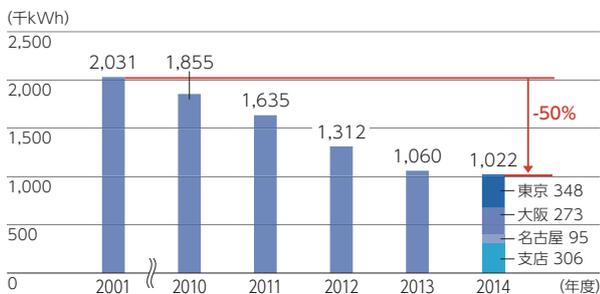
(単位: %)

	2010	2011	2012	2013	2014
リサイクル率 (目標)	80.0	85.0	85.0	85.0	85.0
リサイクル率 (実績)	83.0	82.9	87.1	96.2	93.3

JFE商事

電力使用量およびCO₂排出量

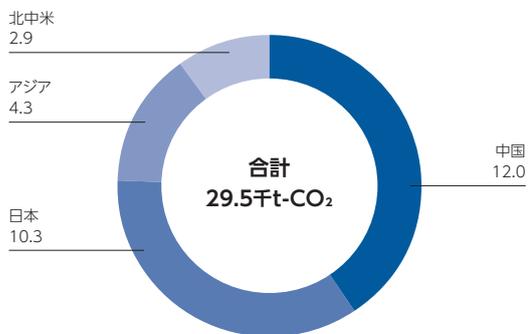
電力使用量推移



購入電力のCO₂排出係数

- 「平成24年度の電気事業者ごとの実排出係数」の代替値0.000550 (t-CO₂/kWh)を使用

JFE商事グループのCO₂排出量



集計範囲：JFE商事および国内外主要連結子会社（鋼材加工会社）32社の電力使用によるCO₂排出量

投入資源

紙(コピー用紙)使用量



環境省「環境報告ガイドライン2012」対照表

環境報告の基本的事項		CSR報告書における記載				環境データ集 掲載ページ
項目	ページ	項目	JFEスチール	JFEエンジニアリング	JFE商事	
1. 報告にあたっての基本的要件						
(1) 対象組織の範囲・対象期間	1	編集方針	○	○	○	1
(2) 対象範囲の捕獲率と対象期間の差異	1	編集方針	○	○	○	-
(3) 報告方針	1	編集方針	○	○	○	-
	62-63	GRIガイドライン対照表	○	○	○	-
(4) 公表媒体の方針等	1	編集方針	○	○	○	-
	表表紙	連絡先	○	○	○	-
2. 経営責任者の補言						
	3-4	トップメッセージ	○	○	○	-
3. 環境報告の概要						
(1) 環境配慮経営等の概要	5-6	JFEグループの事業と社会	○	○	○	2
(2) KPIの時系列一覧	-	-	○	○	○	-
(3) 個別の環境課題に関する対応総括	31-32	環境重点目標と実績	○	○	○	7-8
4. マテリアルバランス						
	33-34	マテリアルフロー	○	○	○	9-10

「環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況」を表す情報・指標		CSR報告書における記載				環境データ集 掲載ページ
項目	ページ	項目	JFEスチール	JFEエンジニアリング	JFE商事	
1. 環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等						
(1) 環境配慮の方針	2	企業行動指針	○	○	○	-
	27	環境理念・方針	○	○	○	-
(2) 重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	3-4	トップメッセージ	○	○	○	-
	30	環境リスクと機会	○	○	○	-
2. 組織体制及びガバナンスの状況						
(1) 環境配慮経営の組織体制等	27-28	環境マネジメント	○	○	○	3
	65-66	第三者意見	○	○	○	-
(2) 環境リスクマネジメント体制	27-28	環境マネジメント	○	○	○	-
(3) 環境に関する規制等の遵守状況	28	環境監査	○	○	○	-
	40-41	環境の保全	○	○	○	-
3. ステークホルダーへの対応の状況						
(1) ステークホルダーへの対応	27	環境理念・方針	○	○	○	-
	30	環境リスクと機会	○	○	○	-
(2) 環境に関する社会貢献活動等	37-39	鉄鋼業界の取り組み	○	○	○	-
	47	環境コミュニケーション	○	○	○	-
4. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況						
(1) バリューチェーンにおける環境配慮の取組方針、戦略等	30	バリューチェーンにおける取り組み	○	○	○	-
	30	環境リスクと機会	○	○	○	-
	36	バリューチェーンにおけるCO ₂ 削減	○	○	○	13
(2) グリーン購入・調達	30	バリューチェーンにおける取り組み	○	○	○	-
	9-14	世界最高の技術で環境課題の解決に貢献	○	○	○	-
(3) 環境負荷低減に資する製品・サービス等	36	バリューチェーンにおけるCO ₂ 削減	○	○	○	13
	42-43	資源循環	○	○	○	5-6
	44-46	環境配慮製品・技術	○	○	○	-
(4) 環境関連の新技術・研究開発	9-14	世界最高の技術で環境課題の解決に貢献	○	○	○	-
	29	環境会計	○	○	○	4
	37-38	鉄鋼業界の取り組み	○	○	○	-
	44-46	環境配慮製品・技術	○	○	○	-
(5) 環境に配慮した輸送	36	バリューチェーンにおけるCO ₂ 削減	○	○	○	13
(6) 環境に配慮した資源・不動産開発/投資等	-	-	○	○	○	-
(7) 環境に配慮した廃棄物処理/リサイクル	31-32	環境重点目標と実績	○	○	○	7-8
	42-43	JFEグループの資源循環の推進	○	○	○	12, 14, 23-24

「事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況」を表す情報・指標		CSR報告書における記載				環境データ集 掲載ページ
項目	ページ	項目	JFEスチール	JFEエンジニアリング	JFE商事	
1. 資源・エネルギーの投入状況						
(1) 総エネルギー投入量及びその低減対策	11	世界最高の技術で環境課題の解決に貢献	○	○	○	-
	31-32	環境重点目標と実績	○	○	○	7-8
	33-34	マテリアルフロー	○	○	○	9-10, 20
	35-36	製鉄プロセスにおける省エネルギーとCO ₂ 削減への取り組み	○	○	○	11-13
	39	CO ₂ 削減に向けた取り組み	○	○	○	25
(2) 総物質投入量及びその低減対策	13	世界最高の技術で環境課題の解決に貢献	○	○	○	-
	31-32	環境重点目標と実績	○	○	○	7-8
	33-34	マテリアルフロー	○	○	○	9-10, 11, 20
(3) 水資源投入量及びその低減対策	33-34	マテリアルフロー	○	○	○	9-10, 11, 20
	40	水の循環利用	○	○	○	12
2. 資源等の循環的利用の状況(事業エリア内)						
	13	世界最高の技術で環境課題の解決に貢献	○	○	○	-
	31-32	環境重点目標と実績	○	○	○	7-8
	33-34	マテリアルフロー	○	○	○	9-12
	40	水の循環利用	○	○	○	12
	43	JFEグループの資源循環の推進	○	○	○	5-6
3. 生産物・環境負荷の産出・排出等の状況						
(1) 総製品生産量又は総商品販売量等	33-34	マテリアルフロー	○	○	○	9-10, 11, 20
	11	世界最高の技術で環境課題の解決に貢献	○	○	○	-
(2) 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	31-32	環境重点目標と実績	○	○	○	7-8
	33-34	マテリアルフロー	○	○	○	9-10
	35-39	地球温暖化の防止	○	○	○	4, 12-13, 21, 25
(3) 総排水量及びその低減対策	33-34	マテリアルフロー	○	○	○	7-8
	40	水資源の効率的利用と汚染防止	○	○	○	11-12, 14, 22
(4) 大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策	33-34	マテリアルフロー	○	○	○	7-8
	40-41	大気への排出抑制	○	○	○	14
(5) 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	33-34	マテリアルフロー	○	○	○	7-8
	40-41	化学物質の管理・排出抑制	○	○	○	14-19, 22-23
(6) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	31-32	環境重点目標と実績	○	○	○	7-8
	33-34	マテリアルフロー	○	○	○	9-10, 11-12, 14
	42-43	資源循環	○	○	○	5-6, 23-24
(7) 有害物質等の排出量及びその防止対策	41	化学物質の管理・排出抑制管理・排出抑制	○	○	○	-
4. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況						
	14	世界最高の技術で環境課題の解決に貢献	○	○	○	-
	45	環境配慮製品・技術	○	○	○	-
	47	環境に関する情報発信と交流	○	○	○	-

「環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況」を表す情報・指標		CSR報告書における記載				環境データ集 掲載ページ
項目	ページ	項目	JFEスチール	JFEエンジニアリング	JFE商事	
1. 環境配慮経営の経済的側面に関する状況						
(1) 事業者における経済的側面の状況	29	環境会計	○	○	○	4
	30	環境リスクと機会	○	○	○	-
(2) 社会における経済的側面の状況	30	環境リスクと機会	○	○	○	-
2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況						
	15-16	多様な人材を確保し育成していくために	○	○	○	-
	19-25	マネジメント	○	○	○	-
	48-60	社会の発展に貢献するために	○	○	○	-

その他の記載事項等		CSR報告書における記載				環境データ集 掲載ページ
項目	ページ	項目	JFEスチール	JFEエンジニアリング	JFE商事	
1. 後発事象等						
(1) 後発事象	-	-				-
(2) 臨時的事象	-	-				-
2. 環境情報の第三者審査等						
	-	-				-



JFE

JFEホールディングス株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2番3号

<http://www.jfe-holdings.co.jp/>

【お問い合わせ先】

JFEホールディングス株式会社 企画部

TEL: 03-3597-4321 (大代表)

E-mail: kankyo@jfe-holdings.co.jp